

津波の科学

- 東日本大震災における津波の科学と減災にむけた街づくり -

2011年3月11日に発生した三陸沖を震源とする東日本大震災は、地震による建物の倒壊のみならず、津波の発生による壊滅的な被害を太平洋沿岸の地域にもたらしました。その津波の想像を絶する破壊力に、映像を見て愕然とした人も多いのではないのでしょうか。

この地震で、津波はなぜ起きたのでしょうか。

今回のサイエンスカフェでは、津波が起きるメカニズムをご紹介するとともに、過去に起きた津波、今回の津波と過去に起きた津波との比較、これまでどのような津波対策が取られてきたのか、果たしてその効果はあったのか、今後どのようなことを考える必要があるのか、などについて海岸工学の専門家である横浜国立大学の佐々木淳さんにお話しいただきます。

日時 / 2011年 **7月22日(金)**

15時00分～17時00分

(前半は講演、後半はディスカッションの予定)

ゲスト / ささき じゅん
佐々木 淳さん

(横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授)

会場 / 神奈川県立川崎図書館

定員 / 40人 (応募者多数の場合は7月15日で締切り、抽選とさせていただきます。)

問合せ先 / 県立川崎図書館 〒210-0011 川崎市川崎区富士見 2-1-4

<http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/> TEL:044-233-4537



【申し込み】(下記のいずれかの方法でお申込ください。)

○往復はがき、または、FAXで (FAX宛先: 044-210-1146)

住所、お名前、電話番号、FAX番号明記の上お送りください。

○当館ホームページより、申込フォームで

神奈川県立川崎図書館 で検索

ケータイは →



【ゲストスピーカー】



佐々木 淳 さん (横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 教授)

専門は土木工学の水工学分野である、海岸工学・環境水工学で、沿岸域や湖沼における防災と環境に関わる研究を行政とも協力しながら進めています。具体的には沿岸域での津波や高潮をコンピュータシミュレーションで予測したり、東京湾のような内湾の水質や底質に関する現地調査や環境改善技術の開発に学生さんと一緒に取り組んでいます。また、スリランカなどの開発途上国から多くの留学生を受け入れ、途上国の水防災、水環境に関わる研究教育にも力を入れています。

【申込方法】

往復はがき、FAX、またはHPより申込ページで下記までお申込ください。申込受付後、折り返し返信します。申込後3日以内に返信がない場合は、お手数ですが下記までご連絡ください。

※応募者多数の場合は7月15日に締め切り

抽選とさせていただきます。

県立川崎図書館 産業情報課

TEL 044-233-4537 (代表)

FAX 044-210-1146

ケータイは↑

URL <http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/>

または、**神奈川県立川崎図書館** で **検索**



7月15日必着!

往復はがき 記入のしかた (例)

返信表面	返信裏面
〒	①第25回 サイエンスカフェ
あなたの住所	②名前(ふりがな)
氏名	③〒住所
	④電話番号
	⑤FAX番号(任意)
	⑥質問など(任意)

案内図



※第25回をFAXでお申込みの方は以下にご記入の上、お送りください。(FAXの無い方は、往復はがき、またはHPより申込ページでお申込ください。)

神奈川県立川崎図書館
第25回サイエンスカフェ「津波の科学」係 行
FAX 044-210-1146

ふりがな
★氏名 : _____

☆ご連絡先FAX番号 : _____

☆ご連絡先電話番号 : _____

☆ご質問など

JR川崎駅・京浜急行京急川崎駅下車 徒歩約15分
バス 教育文化会館前下車すぐ (駐車場はありません)